

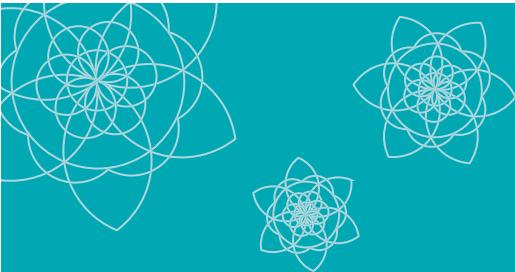
Living the Lotus



7
2022

VOL. 202

Buddhism in Everyday Life



立正佼成会は1938年に庭野日敬開祖、長沼妙佼脇祖によって創立された、法華三部経を所依の經典とする在家佛教教団です。家庭や職場、地域社会の中で釈尊の教えを生かし、平和な世界を築いていきたいと願う人々の集まりです。現在は庭野日鑑会長とともに、私たち会員は仏教徒として布教伝道に励みながら、宗教界をはじめ各界の人々と手をたずさえ、国内外でさまざまな平和活動に取り組んでいます。

Living the Lotus 2022年7月号 (Vol.202)

【発行】立正佼成会 国際伝道部
〒166-8537 東京都杉並区和田2-7-1
普門メディアセンター3F
Tel: 03-5341-1124
Fax: 03-5341-1224
E-mail: living.the.lotus.rk-international@kosei-kai.or.jp
編集責任者: 赤川惠一
編集チーフ: ジグジドホロル・ゲレルトヤー
校閲者: 小坂和正、菊池克之
編集スタッフ: 国際伝道部スタッフ



開祖隨感

日記は自分史

私は毎日のことを日記につけておく習慣で、朝、何時に起きて、だれに会い、どういうことがあったか、一日の出来事を記録してきました。

それを若いときからずっと続けていると、世の中のこと、自分自身のことが、だんだん客観的に見られるようになっているのに気づけるのです。

また、あらためて振り返ってみると、果たしてここを乗り越えることができるだろうかと思うような難題にぶつかって必死の思いで生きていたときこそ、自分が成長する大きなチャンスになっていたことが、分かつてきます。簡単な記録であっても、読み返すと、その時々の記憶が鮮明によみがえってきて、かけがえのない自分史になっているのです。

なによりも大事なことだと思うのは、その記録を通して、「これまでの自分の人生に起こったすべてのことが、一つとしてむだなものはなかったのだ」と、しみじみと思えてくることです。ですから、その日の日記の最後に、「本当にありがたいことだ」と書き加えずにいられなくなるのです。

(『開祖隨感』10, P. 282-283)

Living the Lotus—Buddhism in Everyday Life(法華経を生きる～生活の中の仏教)というタイトルには、日々の生活のなかに法華経の教えを活かして、泥水に咲く美しい蓮の花のように、人生を豊かに、そしてより価値あるものにしていきたいとの願いが込められています。本誌を通じて、世界中の人々に日々の生活のなかで活かす仏教の教えをお伝えします。



日常を当たり前に 生きる——精進①

立正佼成会会长 庭野日鑛

精進とは

私はよく「じょうじん 精進、精進、死ぬまで精進、生まれ変わったらまた精進」とお話しします。人として「完成する」ということはないのだから、進歩・向上をめざす志を忘れないようにと、この言葉をとおして自らを戒めているのです。

ただ、精進の意味するところがわからないままこれだけを聞くと、精進するには相当の覚悟が必要と感じて、「自分にはできない」と尻ごみする人がいるかもしれません。

では、精進とはどのようなことを意味するのでしょうか。

佛教では「つと ひたすら仏道修行に努め励むこと」とされます。道元禪師は、精進を「人のためになるもろもろの善いことを、心をこめて行ない、休むことがない」といつていますが、休むことがないというのではなく、つらそうです。

そこで思いだすのは、「当たり前のことを当たり前にできる人間になってほしい」という開祖さまの言葉です。ざいけ 在家の私たちにとって、それは休むことなくつづく日常を、いつもでも、どこでも「そく ぜ どう 即是道場」の姿勢ですごすことです。だとすれば、精進とは、がむしゃらに打ちこむ修行というより、むしろ日常生活のなかで人を思いやり、まわりの人に安らぎを与える言葉や行動を心がけること、つまり信仰者として当たり前の毎日を送ることにほかなりません。

佛教学者の久保田正文先生は、「四六時中、法華経を読む」という表現で、仏の教えを「身で読む」ことの大切さと、その実践をとおして法を生活の場で生かすことのできる有り難さを教えていますが、私たちの精進はまさに、そうした日常の当たり前のなかにあるのです。

悟りと精進は一つ

あ　な　り　つ　こ　ろ　も　つ　く　ろ
目の不自由な阿那律が、衣のほころびを繕う際に「どなたか、私のために針に糸を
通してくれないだろうか」とつぶやいたとき、「私に功徳を積ませてもらえないか」といっ
て釈尊が針に糸を通した話はよく知られています。

え　と　く　ほ　ど　こ　り　た　ぎ　よ　さ　と
すでに最高の境地を会得している師の言葉と行動に驚き、恐縮する弟子を見て、釈
尊は「阿那律よ、人に思いやりを施すことに、もうこれでいいという際限などないのだ
よ。私はだれよりも幸いを求めているのですから」といわれます。立場や、学びの度合
いの浅い深いにかかわらず、利他行によって心を磨くところに幸せがあり、それをつづ
けることこそ精進であると、やさしく諭されたのです。

い　つ　わ　し　ゅ　し　ょ　う　い　つ　と　う
この逸話は、「修証一等」(修行と悟りは一つ)という言葉のとおり、教えに基づく実践
がができることが悟りの証であり、悟りのなかに精進の喜びがあることを示しています。悟
るための手段を精進と見るよりも、利他の行ないをするたびに仏性が輝き、同時に仏
性の自覚が深まっていくというこの精進の受けとめ方に、私は信仰の悦びを感じます。

しかし、信仰者としての「当たり前」の実践が大事だと思いながらも、つい自己中心
の欲や怠け心に負けて、その「当たり前のこと」ができない私たちでもあります。

ただ、そういうときに「これではいけない」という思いが頭をよぎる人も多いのではない
でしょうか。一瞬でもそう思ったら、もう大丈夫です。心にないものはリセットできません
が、すでにもちあわせているものは、きっかけさえあればすぐにもとへ帰ることができる
からです。

怠け心を精進する心にリセットするきっかけとなるのが、「これではいけない」という反
省で、その反省に至った瞬間、心は仏の教えのとおりに生きようと発心したときの、混じ
りけのない向上心をとり戻しているはずです。

そういう意味でも、このように生きようと誓う「志」が大切なのです。その志に支えられ
た日ごろの精進、利他の実践が、ひいては世界の平和につながっていくのです。

(『校成』2022年7月号)

Spiritual Journey

試練を成長の糧にして

台南教会

チェン・ロンズイ
陳容子

この体験説法は、2022年4月8日に台南教会で行なわれた降誕会式典で発表されたものです。

私は1960年に、姉と第二人の四人姉弟の次女として、台南市で生まれました。両親と一緒に暮らしながら、銀行に勤めていましたが、合併の影響により退職してからは、脳卒中を患った母を自宅で介護していました。その母が2010年に他界し、父も2016年に亡くなつてからは、一人で暮らしています。私は信仰二代目です。現在、教会で経理のお役をいただいています。

佼成会には1992年、父が学校の同級生に導かれて入会しました。本部勧請のご本尊を拝受したのは、1997年5月でした。父は大変熱心な信者で、毎日バイクで教会に通っていました。しかし、母が亡くなつてからは、八十歳を過ぎていた父の身体は急激に弱くなり、私が車で教会まで父の送迎をするようになりました。また、高齢の父に代わり、私が毎日ご宝前のお給仕やご供養をするようになりました。父が亡くなるまでの六年間、毎日教会まで父の送り迎えをしましたが、一度も教会の中に入つてみようとは思いませんでした。

父の死後、当時の王淑芬会計さんが、父の戒名をいただくようにと私の手をとってくださいり、2016年9月に王さんの導きで私も佼成会に入会しました。入会当初はほとんど教会へ行かず、当番の時だけご供養に参加していました。しかし、2017年に王さんの推薦で、私が経理のお役に就くことになり、教会へ行く回数が増えました。お役をいただいた当初は、領収証を正確に書きさえすればよいと思っていたのですが、2019年、当時の吳敏恵理事長さんと一緒に本部で法人役員研修に参加したこと、お役に対する意識が一変しました。その研修の中で、領収証の発行を通して、私がすでに

教えとつながっていること、そして、その私を通して仏さまと会員さんもつながっていることを学んだのです。経理のお役にこれほど尊い意義があるとは思ってもみませんでした。

これより少し前の話になりますが、初めて仏さまの存在を感じた不思議な体験をしました。父の新盆の前に、すぐ下の弟の妻が父の夢を見たのです。父はスツ姿にお禪をかけ、じっと黙ったまま何かを訴えていたそうです。義妹は、父がお禪を欲しがって夢に現れたと思ったようでした。その話を聞いて、私は父の棺にお禪を入れていなかつたことを思い出し、父の願いに応えようと盂蘭盆会の後にお禪をお焚き上げさせていただきました。

その後、2019年5月、私は車の運転中に交通事故を起こしました。自宅から数分と離れていない



灌仏を終えて

交差点で、左折しようとした時のことでした。相手の方は、身体障礙と知的障礙をお持ちでした。私は重傷を負わせてしまったと思い悔やみましたが、検査の結果、相手の方は入院も通院も不要で、自宅で療養すればよいと分かり安堵しました。私は仏さまに守られていることを実感し、災難を最小限に抑えていただいたことに感謝しました。それからは毎日のご供養の中で、相手の方の一日も早い回復を祈りました。折よく、以前から私のことをよくご存知の地域の町内会長さんに間にあっていただき、相手の方との示談も無事に成立しました。これを機に、私は教会でさらに修行に励むことを固く決意しました。

一昨年の8月には、病院の検査で私の肝臓に腫瘍が見つかりました。医者の見立てでは、腫瘍の成長が著しく、悪性かもしれないということで、急速、精密検査を受けることになりました。翌日、教会へ行き、そのことを
マー・レイシン
胡怜身支部長(現教会長)さんにお伝えすると、胡支部長さんは私に、四代まで遡って先祖供養をするようにとご指導くださいました。私はすぐにご祖先さまの戒名をいただきましたが、人数が多くたため、胡支部長さんから四回に分けて供養するようにと改めてご指導いただきました。

勧請から二十数年が経ち、わが家のご本尊さまは、両手部分の表面が酸化し黒く変色していました。ところが、一回目の先祖供養を終えた直後のことです。ご本尊さまの右手が金色に戻り、ご本尊さま全体が明るさを取り戻したのです。弟夫婦も、ご本尊さまの手が輝いていると言い、皆で驚嘆したのを覚えています。この体験を通して、人間に栄養が必要なように、仏さまにも栄養が必要なのだと感じました。そして、真心から供養させていただければ、必ず仏さまに通じると確信しました。

胡支部長さんは、検査報告書が出るまでに四回目の先祖供養を終えるようにとご指導くださいました。そこで、病院へ行く三日前に、最後のご供養をさせていただきました。病院で検査報告を受けると、肝臓の腫瘍は良性で、脂肪の塊が大きくなっていたものの、ほかに異常は見つからなかったとのことでした。私は、改めて仏さまのご守護を感じました。大難が小難になり、小難が無難になるという先祖供養の不思議な功德を、この時も目の当たりにしたのです。

今年の年明けには、義妹が腎血管筋脂肪腫の破裂による内出血で危篤状態に陥り、病院に救急搬送されました。私は教会へ行き、義妹の状況を胡教会長さんにお伝えしました。胡教会長さんは、すぐに祈願供養をするようにとご指導くださいり、その日の内に先輩会員さん方と一緒に、戒名室で義妹の病気平癒祈願供養をさせていただきました。

義妹の入院中、弟から寝付きが悪い義妹のために何かお守りはあるかと聞かれました。そこで、私はお襷を弟に渡して、義妹のベッドの横に置くように伝えました。しばらくして、弟に義妹の様子を聞くと、お襷を置いてからよく眠れるようになったようだと教えてくれました。

義妹が退院した後、子どもたちが自宅療養中の母親の世話をするのは大変だと思い、弟の家に泊まって義妹の面倒を見たいので、しばらく教会に行けないかもしれませんと胡教会長さんにお話ししました。すると胡教会長さんは、これは子どもたちが親への感謝に目覚める成長のチャンスだとご指導くださいり、私は子どもたちに任せることにしました。

胡教会長さんからはまた、まもなく迎える清明節に合わせて教会で行なわれる春季彼岸会の中で、義妹の実家の先祖を供養させていただくことを勧められました。

Spiritual Journey

ご供養願いを書くため、義妹にお父さまのお名前を尋ねると、彼女は夫の先祖だけでなく、自分の実家の先祖の供養もできることに驚き、とても喜んでくれました。そして、義妹は入院中に祖父が自分をあの世に連れて行く夢を見て、怖くて目が覚めたことを話してくれたのです。私はその話を聞いて鳥肌が立ち、仏さまのお慈悲に気づかせていただきました。

今回の出来事は、仏さまが胡教会長さんを通してお手配くださったことで、すべては私が義妹を導き、義妹が実家の先祖を供養し、功徳を回向するためにあったのだと気づかせていただきました。義妹は、実父が亡くなった後、今度は自身が病気になるなど、家庭の問題が次々に起きてはいたものの、すべて大難が小難で済んでいたことに気づいたと話してくれました。このことを胡教会長さんにお伝えすると、「諸行無常」について教えていただき、続けて、思いがけないこと(無常)も受け入れて利他行の徳を積めば、仏さま、ご先祖さまからご守護をいただけるとご指導くださいました。

わが身に降りかかったさまざまな問題を通して、何事も予測できないことを知り、そのことを「諸行無常」として受け取ることができたのは、佼成会の教えを学び、胡教会長さんからご指導をいただいたおかげさまで。無常に直面した時は無常を受け入れるしかなく、ありのままを受け入れてこそ物事は円満に解決できる——そう学ばせていただいたことで、人生で直面する変化は学びのチャンスであり、試練が私を成長させてくれるのだと思えるようになりました。仏さまが私に課題を与えてくださったのだと思えば、楽しく喜びの心でご法の学習に励むことができます。

私は本来とても楽観的で、率直にものを言う性格です。そのため、自分の発言で周りを傷つけても、その自覚すらありませんでした。しかし、教会に行くようになって

からは、知らず知らずのうちに私自身が変わっていきました。何かものを言う前に、それを言うべきかどうかよく考えるようになり、不適切な行為ややり方を見た時、私も同じ過ちをしたかもしれない自分を省みるようになりました。私は今、常に自分を内省し、身口意の三業を淨め、「良いことをする」「良いことを言う」「人に親切にする」を実践目標にしています。

私は元々、宗教に興味がありませんでした。若い頃、私は将来修行し、仏道を歩むようになると、ある方から言われたことがあります。しかし、家族との生活が一番大切だと思っていた私にとって、修行や仏道を歩むなど到底考えられないことでした。それでも仏さまは、私が佼成会に入会する手配を整えてくださっていたのです。なぜなら、佼成会は家庭生活を大事にして、人ととの間の調和を考える在家の佛教教団だからです。

私にはまだ教えがよくわかっていないが、まずはやってみようという気持ちでいます。もっと多くの若い人たちが仏さまとのご縁につながり、佼成会の教えを学びに来ていただけるよう、導きに精進させていただきます。そして、共に喜びの心で仏道を歩んでいくことをお誓いいたします。



法座に参加する陳さん(右から4番目)

まんが 立正佼成会入門

お釈迦さまの生涯と仏教の教え

苦しい修行

出家したお釈迦さまは、仙人や修行僧に弟子入りし、すぐに教えを身につけます。しかし、老いや病気や死への不安を解決する「さとり」への道は遠く、ついに一人で森へ入り、修行をはじめます。

それは当時、広く行なわれていた、体に苦痛を与えることによってさとりを得る苦行という方法でした。1日に米1粒、ゴマ1粒しか食べない修行や、長いあいだ息を止めりといったことを行なったのです。

けれども、さとりを得るまでには至りませんでした。

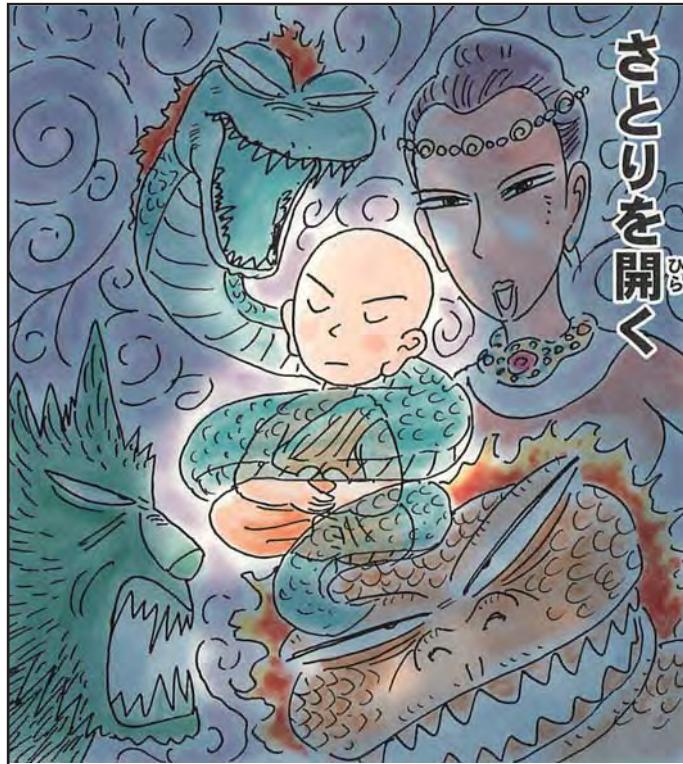


豆知識

修行時代、お釈迦さまは、アーラーラ仙人から教えを聞く。仙人はお釈迦さまの理解の深さを認め、後継者にと願うが、お釈迦さまは「老いや病気、死への不安を解決する方法を求めている」と仙人のもとを去った。



『まんが立正校成会入門』は、校成ショップにて好評発売中です。
<https://www.koseishop.com/>



お釈迦さまは苦行ののち、「極端な苦行はさとりへの道ではない」と気づき、森を出ます。川で体を清めたあと、村の娘スジャーターがささげた乳粥で体力を回復し、菩提樹の下で瞑想に入ります。

この時、悪魔たちがあまい言葉で誘惑したり、おどすなどいろいろな方法で邪魔をします。しかし、お釈迦さまは一心に瞑想を行ない、ついにさとりを開くのです。35歳の12月8日早朝のことでした。お釈迦さまがさとりを開いた場所は、のちにブッダガヤーと呼ばれ、聖地となっています。



豆知識

お釈迦さまはさとりを開いて「ブッダ」となった。ブッダとは「(真理に)目覚めた人」という意味。お釈迦さまが瞑想した場所の木(アシュヴァッタ樹)は無花果の一種で、のちに「菩提樹」と呼ばれるようになる。

Director's Column

師に学んだ精進の姿

国際伝道部長

赤川恵一

今月は菩薩の修行である六波羅蜜の四番目の徳目「精進」についてご法話を頂戴いたしました。

先日、会長先生ご夫妻の主席随行という大役を頂き、伊勢神宮正式参拝に臨みました。会長先生は歩行杖を使ってのご参拝に多少のご不安もあったようですが、伊勢神宮の神域にお入りになると足腰にも力がみなぎり、力強い足取りで、外宮と内宮の正式参拝を済ました。小松揮世久大宮司さまとの懇談では、会長としての威厳と信仰者としての謙虚さを兼ね備えたお姿に、私は強い印象を受けました。

さらに、精進に関連して特に心を打たれたエピソードがあります。会長先生は伊勢神宮の神楽殿を辞する前にお手洗いに立ち寄られましたが、入り口付近にスリッパが散らかっているのに気づくと、すぐに腰をかがめて整頓を始められたのです。手を洗ったあとに蛇口廻りを拭き掃除されていたお姿も印象的でした。

「立場にかかわらず、利他行によって心を磨くところに幸せがあり、それをつづけることこそ精進」とのご法話のお言葉どおり、言行一致のお姿から深く学ばせて頂く得難い機会に心から感謝しております。

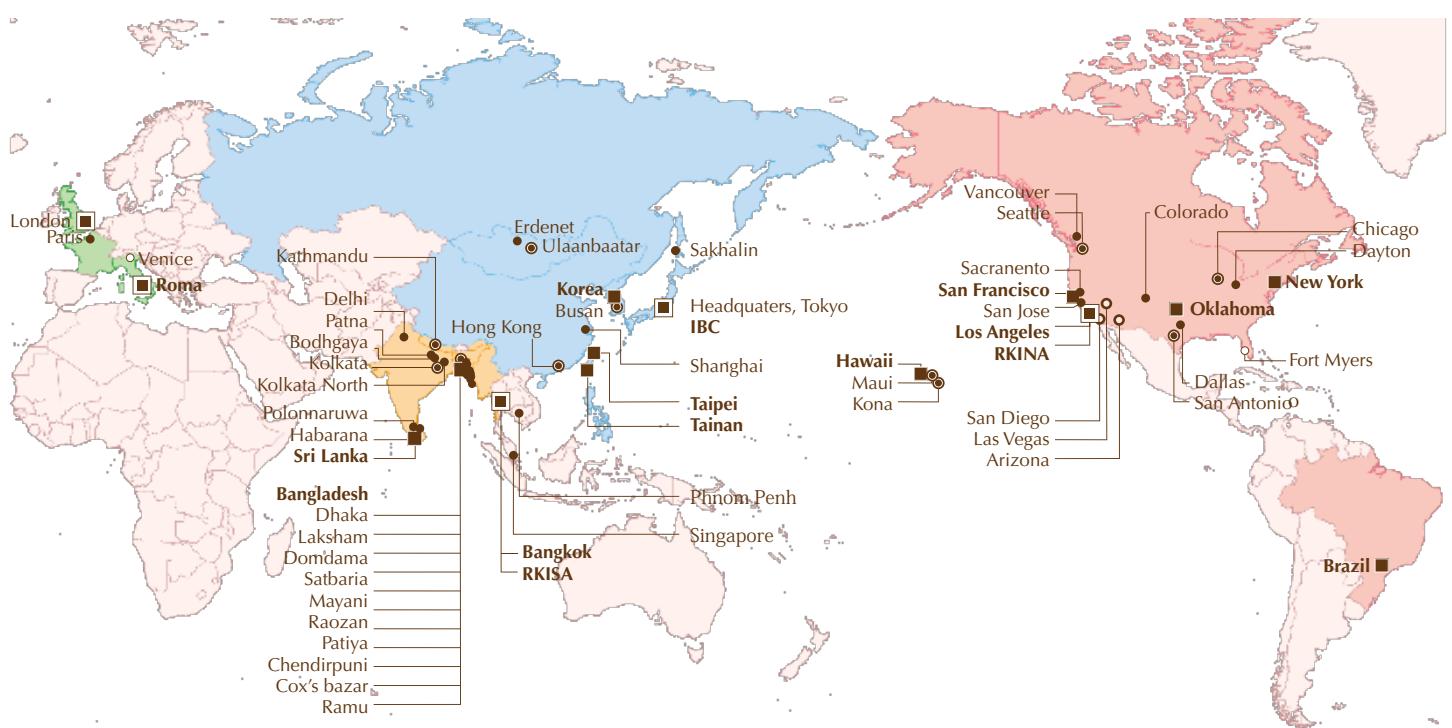


Living the Lotus では、皆さんのご意見・ご感想を募集しています。

お問い合わせは、以下の E メールアドレスにお願い致します。

E メール : living.the.lotus.rk-international@kosei-kai.or.jp

Rissho Kosei-kai: A Global Buddhist Movement



Rissho Kosei-kai Buddhist Church of Hawaii

2280 Auhuhu Street, Pearl City, HI 96782, USA
TEL: 1-808-455-3212 FAX: 1-808-455-4633
Email: sangha@rkhawaii.org URL: <http://www.rkhawaii.org>

Rissho Kosei-kai Maui Dharma Center

1809 Nani Street, Wailuku, HI 96793, USA
TEL: 1-808-242-6175 FAX: 1-808-244-4625

Rissho Kosei-kai Kona Dharma Center

73-4592 Mamalahoa Highway, Kailua-Kona, HI 96740, USA
TEL: 1-808-325-0015 FAX: 1-808-333-5537

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Los Angeles

2707 East First Street, Los Angeles, CA 90033, USA
TEL: 1-323-269-4741 FAX: 1-323-269-4567
Email: rk-la@sbcglobal.net URL: <http://www.rkina.org/losangeles.html>

Please contact Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Los Angeles

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Arizona
Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Colorado
Rissho Kosei-kai Buddhist Center of San Diego
Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Las Vegas
Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Dallas

Rissho Kosei-kai of San Francisco

(Address) 1031 Valencia Way, Pacifica, CA 94044, USA
(Mail) POBox 778, Pacifica, CA 94044, USA
TEL: 1-650-359-6951 Email: lotusbuddhist@gmail.com
URL: <https://sf-buddhism.org/>

Please contact Rissho Kosei-kai of San Francisco

Rissho Kosei-kai of Sacramento
Rissho Kosei-kai of San Jose

Rissho Kosei-kai of New York

320 East 39th Street, New York, NY 10016, USA
TEL: 1-212-867-5677 Email: rkny39@gmail.com URL: <http://rk-ny.org>

Rissho Kosei-kai of Chicago

1 West Euclid Ave., Mt. Prospect, IL 60056, USA
TEL: 1-773-842-5654
Email: murakami4838@aol.com URL: <http://rkchi.org>

Rissho Kosei-kai of Fort Myers

URL: <http://www.rkftmyersbuddhism.org>

Rissho Kosei-kai Dharma Center of Oklahoma

(Address) 2745 N.W. 40th St., Oklahoma City, OK 73112, USA
(Mail) POBox 57138, Oklahoma City, OK 73157, USA
TEL: 1-405-943-5030 FAX: 1-405-943-5303
Email: rkokdc@gmail.com URL: <http://www.rkok-dharmacenter.org>

Rissho Kosei-kai Dharma Center of Dayton

617 Kling Drive, Dayton, OH 45419, USA
URL: <http://www.rkina-dayton.com>

The Buddhist Center Rissho Kosei-kai International of North America (RKINA)

2707 East First St., Suite #1, Los Angeles, CA 90033, USA
TEL: 1-323-262-4430 FAX: 1-323-269-4567
Email: info@rkina.org
URL: <https://www.buddhistcenter-rkina.org>

Rissho Kosei-kai of Vancouver

Please contact RKINA

Rissho Kosei-kai International

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of San Antonio
(Address) 6083 Babcock Road, San Antonio, TX 78240, USA
(Mail) POBox 692148, San Antonio, TX 78249, USA
TEL: 1-210-558-4430 FAX: 1-210-696-7745
Email: dharmasanantonio@gmail.com
URL: <http://rksabuddhistcenter.org>

Rissho Kosei-kai of Seattle's Buddhist Learning Center

28621 Pacific Highway South, Federal Way, WA 98003, USA
TEL: 1-253-945-0024 Email: rkseattlewashington@gmail.com
URL: <http://buddhisticlearningcenter.org>

Risho Kossei-kai do Brasil

Rua Dr. José Estefano 40, Vila Mariana, São Paulo-SP, CEP 04116-060, Brasil
TEL: 55-11-5549-4446, 55-11-5573-8377
Email: risho@rkk.org.br URL: <http://www.rkk.org.br>

在家佛教韓國立正佼成會 Korean Rissho Kosei-kai
〒 04420 大韓民國 SEOUL 特別市龍山區漢南大路 8 路 6-3
6-3, 8 gil Hannamdaero Yongsan gu, Seoul, 04420, Republic of Korea
TEL: 82-2-796-5571 FAX: 82-2-796-1696

在家佛教韓國立正佼成會釜山支部 Korean Rissho Kosei-kai of Busan
〒 48460 大韓民國釜山廣域市南區水營路 174, 3F
3F, 174 Suyoung ro, Nam gu, Busan, 48460, Republic of Korea
TEL: 82-51-643-5571 FAX: 82-51-643-5572

社團法人在家佛教立正佼成會 Rissho Kosei-kai of Taipei
台灣台北市中正區衡陽路 10 號富群資訊大廈 4 樓
4F, No. 10, Hengyang Road, Jhongjheng District, Taipei City 100, Taiwan
TEL: 886-2-2381-1632, 886-2-2381-1633 FAX: 886-2-2331-3433

台南市在家佛教立正佼成會 Rissho Kosei-kai of Tainan
台灣台南市東區崇明 23 街 45 號
No. 45, Chongming 23rd Street, East District, Tainan City 701, Taiwan
TEL: 886-6-289-1478 FAX: 886-6-289-1488
Email: koscikaitainan@gmail.com

Rissho Kosei-kai South Asia Division
Thai Rissho Friendship Foundation
201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkok, Huaykhwang, Bangkok 10310, Thailand
TEL: 66-2-716-8141 FAX: 66-2-716-8218

Rissho Kosei-kai of Kathmandu
Ward No. 3, Jhamsikhel, Sanepa-1, Lalitpur, Kathmandu, Nepal

Rissho Kosei-kai Society of Kolkata
89 Srirampur Road (VIP), Garia, Kolkata 700084, India

Rissho Kosei-kai of Kolkata North
AE/D/12 Arjunpur East, Teghoria, Kolkata 700059,
West Bengal, India

Rissho Kosei-kai of Bodhgaya Dharma Center
Ambedkar Nagar, West Police Line Road, Rampur, Gaya-823001,
Bihar, India

Rissho Kosei-kai of Patna Dharma Center
Please contact Rissho Kosei-kai Society of Kolkata

Rissho Kosei-kai of Central Delhi
77 Basement D.D.A. Site No. 1, New Rajinder Nagar,
New Delhi 110060, India

Rissho Kosei-kai of Singapore
Please contact Rissho Kosei-kai International

Rissho Kosei-kai of Phnom Penh
W.C. 73, Toul Sampaov Village, Sangkat Toul Sangke, Khan Reouseykeo,
Phnom Penh, Cambodia

RKISA Rissho Kosei-kai International of South Asia
Thai Rissho Friendship Foundation
201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkok, Huaykhwang, Bangkok 10310, Thailand
TEL: 66-2-716-8141 FAX: 66-2-716-8218

Rissho Kosei-kai of Bangkok
Thai Rissho Friendship Foundation
201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkok, Huaykhwang, Bangkok 10310, Thailand
TEL: 66-2-716-8216 FAX: 66-2-716-8218 Email: info.thairissho@gmail.com

Rissho Kosei Dhamma Foundation
No. 628-A, Station Road, Hunupitiya, Wattala, Sri Lanka
TEL: 94-11-2982406 FAX: 94-11-2982405

Rissho Kosei-kai of Polonnaruwa
Please contact Rissho Kosei Dhamma Foundation

Rissho Kosei-kai Bangladesh
85/A Chanmari Road, Lalkhan Bazar, Chittagong, Bangladesh
TEL: 880-2-41360470

Rissho Kosei-kai Mayani
Mayani Barua Para, Mirsarai, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai Damdama
Damdama Barua Para, Mirsarai, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai Satbaria
Village: Satbaria Bepari Para, Chandanaih, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai Chendhirpuni
Village: Chendhirpuni, P.O.: Adhunogar, P.S.: Lohagara, Chittagong,
Bangladesh

Rissho Kosei-kai Raozan
Dakkhin Para, Ramzan Ali Hat, Raozan, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai Laksham
Village: Dhupchor, Laksham, Comilla, Bangladesh

Rissho Kosei-kai Dhaka North
408/8 DOSH, Road No 7 (West), Baridhara, Dhaka, Bangladesh

Rissho Kosei-kai Cox's Bazar
Ume Burmize Market, Tekpara, Sadar, Cox's Bazar, Bangladesh

Please contact Rissho Kosei-kai Bangladesh

Rissho Kosei-kai Patiya

Rissho Kosei-kai Ramu

Rissho Kosei-kai Aburkhil

Buddiyskiy khram "Lotos"

4 Gruziinski Alley, Yuzhno-Sakhalinsk 693005, Russia
TEL: 7-4242-77-05-14

Rissho Kosei-kai of Hong Kong

Flat D, 5/F, Kiu Hing Mansion, 14 King's Road, North Point, Hong Kong, China

Rissho Kosei-kai Friends in Shanghai

Please contact Rissho Kosei-kai International

Rissho Kosei-kai of Ulaanbaatar

(Address) 15F Express Tower, Peace avenue, khoro-1, Chingeltei district,
Ulaanbaatar 15160, Mongolia
(Mail) POBox 1364, Ulaanbaatar-15160, Mongolia
TEL: 976-70006960 Email: rkkmongolia@yahoo.co.jp

Rissho Kosei-kai of Erdenet

Please contact Rissho Kosei-kai International

Rissho Kosei-kai di Roma

Via Torino, 29, 00184 Roma, Italia
TEL/FAX: 39-06-48913949 Email: roma@rk-euro.org

Please contact Rissho Kosei-kai di Rome

Rissho Kosei-kai of Paris

Rissho Kosei-kai of Venezia

Rissho Kosei-kai of the UK

29 Ashbourne Road, London W5 3ED, UK
TEL: 44-20-8933-3247 Email: info@rkuk.org URL: https://www.rkuk.org
Facebook: https://www.facebook.com/rkuk.official
Twitter: https://twitter.com/rkuk_official
Instagram: https://www.instagram.com/rkuk_official

Rissho Kosei-kai International Buddhist Congregation (IBC)
166-8537 東京都杉並区和田 2-7-1 普門メディアセンター 3F
Fumon Media Center 3F, 2-7-1 Wada, Suginami-ku, Tokyo 166-8537, Japan
TEL: 03-5341-1230 FAX: 03-5341-1224 URL: http://www.ibc-rk.org